

9月の健康カレンダー

緑保健福祉センター ☎ 44-3009

日曜日	内 容	受付時間	場 所
1 木	山添夏期健康教室	9:30~11:30	緑市民センター
5 月	成人健康相談	9:00~11:30	緑老人福祉センター
7 水	神道夏期健康教室	9:30~11:30	神道集会所
	いきいき教室	13:30~15:30	緑保健福祉センター
8 木	大丸老人クラブ健康相談	9:00~11:00	大丸公会堂
9 金	広田上夏期健康教室	9:30~11:30	緑市民センター
	土井老人クラブ健康相談	13:30~15:00	土井集落センター
12 月	成人健康相談	9:00~11:30	しづおり館
14 水	リハビリ教室	13:30~15:30	緑保健福祉センター
15 木	川向老人クラブ健康相談	9:30~11:00	川向公会堂
16 金	不動・広田南夏期健康教室	13:30~15:30	緑市民センター
20 火	糖尿病相談	9:00~11:30	
21 水	いきいき教室	13:30~15:30	緑保健福祉センター
28 水	リハビリ教室	13:30~15:30	

西淡保健センター ☎ 37-3029

日曜日	内 容	受付時間	場 所
1 木	町ぐるみ健診	8:00~11:30	西淡保健センター
2 金	〃	〃	
3 土	〃	〃	
5 月	健康相談	13:30~15:00	
7 水	〃	〃	湯の川荘
8 木	〃	10:00~11:00	万松園
14 水	簡単・おいしいお菓子教室	10:00~12:00	松航活性化センター
	リハビリ教室	13:30~16:00	西淡保健センター
15 木	健康大学	10:00~11:00	万松園
26 月	ヘルシースリム教室	13:30~15:00	西淡保健センター
28 水	ザ☆男の料理教室	10:00~12:00	松航活性化センター
	足腰お達者教室	13:30~15:00	湯の川荘

三原保健センター ☎ 43-5039

日曜日	内 容	受付時間	場 所
1 木	体ほぐし体操教室	14:15	三原保健センター
	健康相談	9:00~11:00	
5 月	転ばぬ教室	13:30	
	リハビリ教室	〃	
15 木	体ほぐし体操教室	14:15	
20 火	食生活改善教室&男の料理教室	10:00	
26 月	健康相談	9:00~11:00	
	お達者教室	13:30	

南淡福祉保健センター ☎ 50-2122

日曜日	内 容	受付時間	場 所
1 木	住民健康相談	9:30~11:00	ふくら荘
5 月	老人いきいき教室	〃	南淡福祉保健センター
7 水	病態別健康相談	〃	
8 木	ヘルシークッキング教室	9:30~12:00	
12 月	リハビリ教室	13:30~15:30	
13 火	糖尿病相談	9:30~11:00	沼島総合センター
	ダンベル教室	13:30~15:00	
15 木	男の料理教室	9:30~12:00	
	沼島いきいき教室	9:30~11:00	
	愛育班研修会	〃	
20 火	病態別健康相談	〃	阿万公民館
22 木	住民健康相談	〃	仁尾荘
30 金	訪問リハビリテーション	16:00~17:00	阿万地区

献血のお知らせ 健康課 ☎ 44-3004

日 曜日	受付時間	場 所
15 木	14:00~16:00	八木病院
27 火	11:30~15:30	パルテイ
30 金	10:00~15:30	南淡公民館

休日応急診療所 (広域消防南淡分署横 ☎ 53-1536)

診察日	(昼)9:00~16:30	(夜)19:00~22:30
9月4日(日)	富本喜文 医師 馬部樹也 医師	
9月11日(日)	福田郁夫 医師 福原正博 医師	
9月18日(日)	高田育明 医師 前田昌己 医師	
9月19日(月)	佐藤正 医師 真野博文 医師	
9月23日(金)	橋田友孝 医師 村野謙一 医師	
9月25日(日)	穀内純江 医師 宮崎美枝 医師	

時間外診療病院

曜日	病 院 名	曜日	病 院 名
月	平成病院 ☎ 42-5335	木	翠鳳第一病院 ☎ 45-0099
火	平成病院 ☎ 42-5335	金	中林病院 ☎ 42-6200
	八木病院 ☎ 42-6188	土	翠鳳第一病院 ☎ 45-0099
水	中林病院 ☎ 42-6200		
	南淡路病院 ☎ 53-1553		

●平日は午後6時から午後11時まで
●土曜日は午後1時から午後11時まで

母子健康カレンダー

() は対象者

内 容	日 曜日	受付時間	場 所
2歳児歯科健診 (平成15年6月生)	2 金	13:15~13:30	緑保健福祉センター
強い歯・幼児フッ素塗布 (平成14年6月・12月生)	6 火	13:15~13:30	
母親学級(後期)	8 木	13:30~14:00	
コアラ教室	22 木	9:30~11:00	
育児相談 (平成16年7月生・17年2月生)	1 木	13:30~14:30	緑保健福祉センター
	7 水	〃	三原保健センター
	12 月	〃	西淡保健センター
	26 月	〃	南淡福祉保健センター
3歳児健康診査 (平成14年7月・8月生)	9 金	13:30~13:45	南淡福祉保健センター
	13 火	〃	西淡保健センター
	14 水	〃	三原保健センター
10か月児健康診査 (平成16年11月生)	16 金	13:30~13:45	南淡福祉保健センター
	20 火	〃	西淡保健センター
	21 水	〃	三原保健センター
4か月児健康診査 (平成17年5月生)	27 火	13:30~13:45	緑保健福祉センター
	28 水	〃	三原保健センター
	30 金	〃	南淡福祉保健センター

※健康カレンダーは南あわじ市ホームページの「イベントカレンダー」からでもご覧いただけます。アドレスは、http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/

アスベストについて

アスベスト(石綿)が原因とみられる健康被害が相次いで報告されています。不安に感じている方は、次のQ&Aでアスベストについての知識を身に付け、専門相談窓口へご相談ください。

【アスベスト(石綿)とは?】

石綿は、線状の鉱物で、スレート材、防音材、断熱材、保温材、吸湿材などの材料として使用されてきました。以前はビル等の建築工事に使用されてきましたが、現在では原則として禁止されています。

【アスベストとはどんな特性をもっていますか?】

石綿はその繊維が極めて細く、飛び散ると、人が吸い込みやすいという特徴を持っています。一旦吸い込んだアスベストの一部は異物として痰のなかに混ざり、体外に排出されませんが、排出されなかったものは肺の中に残ります。

【アスベストが原因で発症する病気は?】

▼石綿(アスベスト) 肺
肺が繊維化してしまう肺繊維症(じん肺)という病気の一つです。石綿を吸い込んだことによっておきた肺繊維症を特に石綿肺とよんでいます。職業上アスベスト粉塵を吸入した労働者に起こるといわれており、潜伏期間は十五年〜二十年といわれています。

▼悪性中皮腫
肺を取り囲む胸膜、肝臓や胃などの臓器を囲む腹膜、心臓などを覆う心膜等にできる悪性の腫瘍です。若い時期にアスベストを吸い込んだ方のほうが悪性中皮腫になりやすいことが知られています。潜伏期間は二十〜五十年といわれています。

▼肺がん
石綿が肺がんを起こすメカニズムはまだ十分に解明されていませんが、吸い込んだ量が多いほど肺がんの発症が多いことが知られています。潜伏期間は十五〜四十年といわれています。

【どの程度の量のアスベストを吸い込んだら発症しますか?】

吸い込んだアスベストの量と肺がんなどの発病との間には相関関係が認められていますが、吸い込んだ量が少量の場合の発がんの危険性については不明な点が多いとされています。しかし、その危険性はゼロとは断定できず、基本的には安全な濃度はないといわれています。

【以前アスベストを吸い込んでいた可能性がある場合どこに検査に行けばいいですか?】

アスベストを吸い込んだ可能性のある方や呼吸困難や咳、胸痛などの症状がある方、その他特にご心配な方は専門病院に相談されることをお勧めいたします。アスベストを吸い込んでおこる病気が発病しているかどうかを調べるためには、胸部X線検査のほ

か、胸部CT検査や腹部CT検査などを行うことがあります。

兵庫県下の専門病院

- ・関西労災病院呼吸器科 (☎ 06-6416-1221)
- ・神戸労災病院 (☎ 078-231-5901)

なお、島内では次表のとおり相談窓口を設置しております。

内 容	相談窓口	電話番号
総 合	アスベスト対策総合案内(淡路県民局内)	0120-36-7830
健康相談	洲本健康福祉事務所	26-2051
環境相談	淡路県民局環境課	26-2070
建築相談	淡路県民局建築課	26-3247
消費生活相談	県立淡路生活科学センター	0799-85-0999

▼市の窓口

各総合窓口センターで県の相談窓口の紹介や取り次ぎを行っています。(緑 ☎ 44-3001、西淡 ☎ 37-3011、三原 ☎ 43-5021、南淡 ☎ 50-3031)

休日小児救急診療(県立淡路病院)

診察日	担当医師
9月4日(日)	平山 毅 医師
9月11日(日)	田中一宏 医師
9月18日(日)	植村幹二郎 医師
9月19日(月)	坂口美奈子 医師
9月23日(金)	三根一乗 医師
9月25日(日)	富本康仁 医師

※必ず予約電話を入れてください(☎23-2700)
※担当医は都合により変更になることもあります

9月24日~30日 結核予防週間

結核は随分減ってきましたが、それでもまだ国内で年間約3万人の新規患者が発生し、約3千人が亡くなっています。淡路島内でも毎年新たに40人程度の結核患者が発見されており、その中には発見が遅れ重症に至る例もみられます。しかし、今では結核は早期に発見すれば、通院治療で確実に、かつ早く治る病気です。健康診断を定期的に受けることが大切です。また、咳や痰が続いたり、発熱や胸痛などの自覚症状がある場合はすぐに医師の診察を受けましょう。

